

2024年度第2回(2024年第8回)理事会議事録

日時：2024年11月20日(水) 15:00～18:00

場所：アニヴェルセルみなとみらい横浜4階アトリエ

現地出席者：

宇野 隆(理事長)、溝脇尚志(専務理事)、青山 英史、
有賀久哲、井垣 浩、石川 仁、内田 伸恵、大西 洋、

大野達也、岡嶋 馨、小川和彦、古平 毅、櫻井英幸、佐々木良平、澁谷景子、高橋健夫、中村和正、村上祐司（以上理事）、塩山善之、生島仁史（監事）、角田怜子、鈴木弘美、山内蓉子（以上事務局）

欠席者：なし（敬称略）

冒頭、大西第37回学術大会長より、明日からの学術大会の説明、ご挨拶がなされた。

審議事項

1. 前回議事録承認（溝脇専務理事）

前回（2024/10/11 理事会議事録案と、その後の進捗状況が確認され、承認がなされた。

2. 会員の入会他（溝脇専務理事）

1) 2024年11月9日26日から2024年11月12日までの入会申請は34名〔内訳 正会員9名、准会員25名〕、会員区分異動の希望があること〔正会員→准会員1名〕が報告され、承認された。

2) 2024年11月12日現在の会員登録状況について下記のとおり説明がなされた。

- 会員総数：4,421名
〔内訳 正会員2,319名、准会員2,000名、名誉会員55名、賛助会員37社、国際賛助会員10名〕
- 退会者：4名〔正会員1名、准会員3名〕
- 正会員内訳：医師2,114名、歯科医師45名、医師以外160名（医師比率91.16%）
- 男女比率：正会員〔男性1,844名、女性475名〕、准会員（男性1,528名、女性472名）
- 専門医数：1,471名（男性1,186名、女性285名）

3. 委員会規約「西暦+（和暦）」表示／財務委員会および総務委員会新規約案（大野理事）

- 定款細則と委員会細則・委員会規約における附則の施行年の表記が統一されていない旨説明され、定款細則の記載に合わせ、委員会通則および委員会規約も現在の「和暦」のみの表記から「西暦（和暦）表示」とする旨承認された。
- 前回理事会（2024/10/11）にて「財務・総務委員会」を「財務委員会」「総務委員会」への分割する案が承認され、新委員会としてスタートするにあたり、規約委員会で検討・審議された財務委員会の新規約案〔予算執行・編成計画、中・長期に渡る財務計画等〕、総務委員会の新規約案〔総会、理事会、各委員会事業の整理・調整、学会事務局等の事項、外部団体、省庁等外関係他〕が示され、承認がなされた。なお、今後必要があれば追加等の改訂を行っていく旨確認された。

4. 「放射線治療装置に関する品質保証リスト」の提供について（澁谷理事）

2024/8/26理事会にて報告のあったQA委員会作成の「放射線治療装置に関する品質保証リスト」について、最終の品質保証リスト、およびリストの作成の経緯や推奨される使用方法等の説明資料が示され、承認がなされた。今後は学会のホームページ（HP）>QAのページへ掲載し、各施設へのリスト掲載の旨、案内することが確認された。

5. 「患者さんと家族のための放射線治療 Q&A 2025年版」最終版（岡嶋理事）

広報委員会にて改訂作業実施の「患者さんと家族のための放射線治療 Q&A 2025年版」について、今版は担当者や保険適用、治療法、施設等5年間で変化した内容のみ改訂し更に分かりやすくしたこと、巻末の「放射線治療実施施設」掲載については前回事業会にて承認の通り、JASTROgramで同意しない施設の意思表示をお願いした上で「2024年9月30日時点のJASTRO認定施設と、データベース委員会が把握している放射線治療施設のうち、2022年度（2021年分）JASTRO構造調査に協力（回答）の掲載に同意した施設」として掲載する旨が説明され、最終の原稿案が提示され承認がなされた。

6. 令和8年診療報酬改定における医療技術評価提案（案）について（大西理事）

令和8年診療報酬改定に向けた医療技術評価提案について、未収載は「即時適応放射線治療、AIを利用した放射線治療の管理加算、治療開始前に実施する放射線治療計画確認報告書の報告書管理加算、IMRT治療期間中の患者QA」の計5提案、既収載については「IMRTの施設基準の見直し、体外照射料の見直し、寡分割照射の加点の増点等」計22件を提案予定である旨説明された。特に、「体外照射料の見直し」については放射線治療業界全体にとって重要な項目であり、UPのために多方面からの検討・工夫が必要である旨が議論され、厚労省への治療医出向への取り組みやデータ集積の戦略化、経済界との連携他施策を検討し、今後も健保委員会、理事会が注力していく旨が確認された。

7. IMRT施設要件見直しに関する現状（厚労省面談・厚労科研）（大西理事）

従来から議論を重ねているIMRT施設要件見直しについて、現行の施設要件①常勤専従医師2名「常勤医師1（5年以上経験）+常勤医師2（経験不問）」に対し、常勤医師2の代替人員として「5年以上経験の外部支援医師→遠隔OR非常勤）」の案が厚労省からあった

が、従来からの提案「常勤専従の認定治療計画補助者」を許容する案に、引き続き交渉していくことが説明された。認定治療計画補助者について、教育／研修体制作りは関連団体が足並みを揃える方向で進んでいるが、地方においても常勤の配置が可能か、対病院への理解や補助者の認定にかかる費用等各課題に対して引き続き検討が必要な旨確認された。厚労省からの施設要件にかかわる提案のような重要な内容については、面談者個人の考えで返答するのは不適切であり、今後は持ち帰って理事会で対応について審議すべきであることが指摘された。

報告事項

1. 理事長・専務理事職務状況報告

(宇野理事長／溝脇専務理事)

現在までの業務状況・活動報告がなされた。

2. 役員等 関係省庁・各団体との面談報告 (井垣理事)

2024年10月23日国立がん研究センター中央病院へ厚生労働省より、放射線防護の実施や放射線治療関連機器／施設の見学のために訪問があった旨、前回理事会で決定された面談報告の様式に基づいて、報告された。今後も放射線治療メインで訪問予定である旨や核医学治療についての質問があった旨が報告された。

3. 渉外・関連学会委員会：日本食道学会との合同企画共催依頼 (佐々木理事)

日本食道学会より第79回日本食道学会学術集会(2025年6月26～27日／京都国際会議場／京都大腫瘍内科 武藤学大会長)において、当会との合同企画「放射線治療に伴う毒性とその対策」の共催依頼があった旨説明された。「共催・協賛・後援等の依頼の関する取扱規定」に則り、「緊急かつ経費負担が無」により、理事長・専務理事の決意にて既に食道学会へは「承認」の回答を行った旨報告された。

4. 粒子線治療委員会：先進医療会議への報告書、回答書について (櫻井理事)

先進医療会議へ提出の報告書「先進医療Aとして実施した粒子線治療(陽子線治療、重粒子線治療)の最近1年間の実施状況」及び、回答書が提示され、先進医療会議より、食道癌について前向き臨床試験の実施の指摘があったため、引き続き、今の先進医療Aの枠組みの中で付随研究として前向き登録を追加するという回答を行った旨が報告された。

5. 学術委員会：JASTRO研究課題報告 (村上理事)

- 2023・2024年度研究課題の中間報告について委員による審査において報告書および会計報告書に問題がなかった旨報告された。
- 細則の変更に準じ、2024・2025年度研究課題募集要項文について、「大規模な研究費の獲得は難しいが放射線治療への貢献度が高いと考えられる基礎研究・臨床研究を広く募集する旨」や、「若手学会員、一般病院勤務の学会からの申請も歓迎する旨」追加変更を行う旨が説明された。
- JASTRO研究課題採択者の論文化および投稿費補助の状況について、研究課題研究助成金細則に、「申請により論文投稿料の学会からの補助が可能となる」旨の記載があるが、実際論文化に際し投稿料補助申請が少ないデータが示され、今後は最終報告書提出の際に論文化の状況について確認をとる旨説明された。

6. 将来計画委員会「AI研究推進WG」進捗報告

(村上理事)

2023年度活動状況については、データベースWEBシステムプロトタイプ作成とシステムの最終修正と、研究計画策定の広島大学での一括審査申請と承認を得たこと、2024年度についてはすでに肺癌症例登録を広島大で行い、委員所属の5施設から開始している旨説明された。今後は会員へのAIデータベース事業の告知や会員からの研究募集など進めていく旨あわせて報告された。

7. DB委員会：構造調査、症例登録、RI内用療法登録現状報告 (中村理事)

2024年9月30日～11月30日まで放射線治療施設構造調査(構造調査)および放射線治療症例全国登録事業(JROD)を実施している旨報告され、順調にデータが集まってきており、引き続きの協力依頼がなされた。またRI内用療法症例登録事業(RI症例登録)については、2024年10月21日よりオリジナル簡易システムにて、前年(2023年1月1日～12月31日)にRI内用療法を開始した症例が登録可能となっている旨説明され、役員へ登録の協力依頼がなされた。

8. 広報委員会：漫画冊子体配布先等 (岡嶋理事)

前回理事会(2024/10/11)より検討を進めていたコミック冊子体の配布先について、賛助会員へのアンケートで13社より協力可との回答があった旨報告され。また前回理事会にて意見があった役員への一斉配布について12月末までに役員へ各100部配布とし、医学生・市民へのPRのため活用するよう各役員に依頼が

なされた。

9. ガイドライン委員会：前立腺癌放射線治療におけるスパーサーに関する適正使用指針進捗（井垣理事）

前回理事会にて再検討することとなった「前立腺癌放射線治療におけるスパーサーに対する適正使用指針案」（企業からの初案）に対して、その後、企業より回答書の提出が何回もあり、委員長にて確認を行った旨報告された。なお製品説明資料（文書・動画）については現在、企業に作成依頼中である旨説明され、今後資料や泌尿器学会との連携等が揃った段階で再度、検討をする旨確認された。

10. 医学物理士／QA委員会：放射線治療計画補助者会議確認・試験作業部会への医師推薦（大野理事／澁谷理事）

放射線治療品質管理機構より依頼のあった「確認・試験作業部会」への放射線治療医2名の派遣について、1名については既に前回理事会にて村上 祐司理事の推薦が承認されたが、「コンテンツ作業部会」から選出するもう1名について、安田耕一会員（北大）を推薦した旨報告された。

11. 放射線治療専門医制度委員会：日本専門医機構へのサブスペ領域認定期間に関する要望書とその回答、2024年8月放射線治療専門医試験合格者の日本専門医機構（二次審査）認定（古平理事）

- 「日本専門医機構宛て放射線サブスペ領域の認定期間要望書（2024年9月27日付／JRS・JASTRO連名）」にて「試験合格年の4月に遡って認定開始とすること」「更新時の認定期間については更新審査の翌年度4月から5年後の3月末認定を希望する」旨提出したが、2024年10月21日に機構より認定期間に関する要望を認めるとの回答があった旨報告された。
- 2024年8月に当会にて実施の「第1回放射線治療専門医試験」合格者（1次審査）45名について、機構の専門医認定・更新委員会（2次審査）にて45名の専門医が承認されたとの通知の旨報告された。

12. 日本専門医機構放射線科領域専門医更新基準の承認（古平理事）

日本専門医機構より、放射線科領域専門医更新基準改訂の承認の通知が医学放射線学会（JRS）にあった旨報告された。

13. 健保委員会：放射線治療報酬に対する放射線治療試案（第1版）の理論と実際（大西理事）

放射線治療コードWGによるコーディングの作成「放射線治療報酬に対する放射線治療試案（第1版）の

理論と実際」が概ね完成した旨、報告された。

14. 賞等推薦委員会：阿部光幸名誉会員からの阿部賞寄附金拝領（有賀理事）

阿部光幸名誉会員より、阿部賞へ多額の寄付金があった旨報告された。

その他報告事項

15. 日本がん治療認定機構「関連学会連絡委員会」委員参加報告（古平理事）

日本がん治療認定機構：関連学会連絡協議会（2024年10月8日）の参加報告・資料が説明された。

16. 前立腺癌患者に対するPSMAを標的とした核医学診断・治療の早期国内導入及びその環境整備に関する要望書（溝脇理事）

8月の理事会で提出が承認された日本医学放射線学会・日本核医学会・日本泌尿器科学会との4学会合同「前立腺癌患者に対するPSMAを標的とした核医学診断・治療の早期国内導入及びその環境整備に関する要望書」の最終文案が示され、厚生労働大臣宛てに提出する予定である旨報告された。

その他

17. 11/21 社員総会確認事項（宇野理事長）

明日開催予定の2023年度定時社員総会での事項（議事録署名人、代議員提案事項に対する回答担当、資料等）の確認がなされた。

18. 各委員会引継ぎ事項（JASTRO事務局）

新委員会再編にあたり、引継ぎ書類の提出状況について報告がなされ、これから提出予定の委員会は急ぎ事務局へ連絡と提出が依頼された（引継ぎ事項の提出がない委員会については新委員長より直接の問い合わせがある旨説明された）。

19. 退任役員挨拶

明日の社員総会終了後退任される予定の各役員（有賀久哲理事、井垣浩理事、内田伸恵理事、岡嶋馨理事、高橋健夫理事、大西洋理事、塩山善之監事）より、ご挨拶があり、宇野理事長から各人への謝意が伝えられた。

20. ASTRO代表者プレゼン・質疑応答

ASTRO代表者Dr. Geraldine Jacobson先生（Immediate Past Chair）、Jeff M. Michalski先生（Chair）が出席され、ASTROの概況についてDr. Geraldine Jacobson先生よりプレゼンが行われ、各理事と質疑応答がなされた。